



国際化著しいビジネスシーンにおいて、改めて日本の良さ、その街の良さに着目し、働く活力へとつなげる。  
- 日々の積み重ね -  
歴史を重んじ、今に生かす。  
より良い未来へと向けて。

# RE:TODAY

— 積み重ねで構成する駅デザイン —



## ■新橋駅 積み重ね レンガ



### < 望ましい経験 >

「30代男性会社員 新橋勤務の一日」

### ■ビジネスシーンに配慮した駅機能

#### < 携帯電話通話ブース・ハイカウンターの設置 >

プラットフォーム・コンコースに周りを気にすることなく通話可能な携帯電話通話ブースを設置。また、缶コーヒーや時間がないときに軽食を済ませることのできるハイカウンターを設置し、ビジネスパーソン的一天をサポートする。

#### < 地域との連携 >

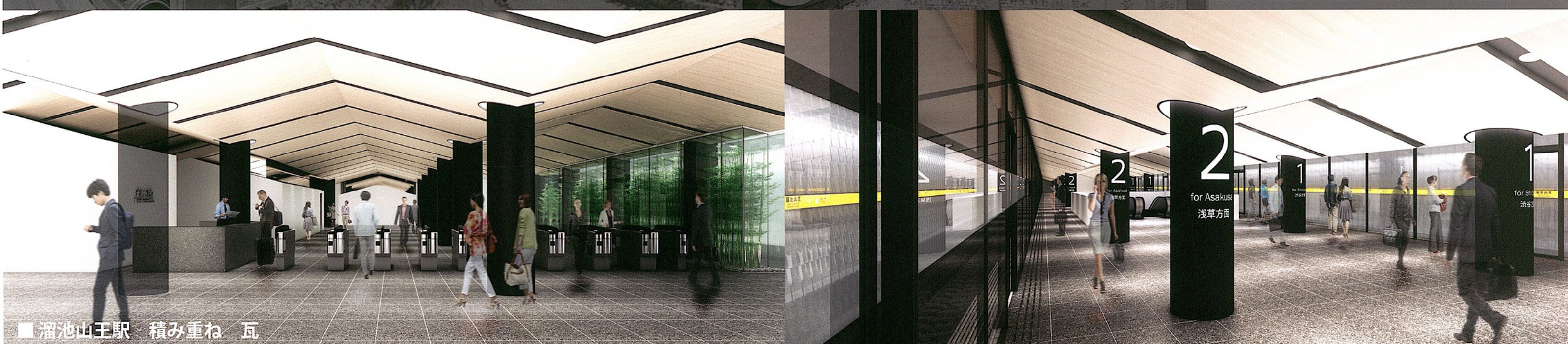
ランチや打合せ、飲み会や接待など、ビジネスシーンに合わせた店の情報などを冊子化し、わかりやすい位置に設置。エリアの特徴としてビジネス以外の利用客にもホテルランチなどお得情報を展開。駅が街の案内をする場所として機能し、街とのつながりの役目を果たす。

新しい駅ができて、僕の生活リズムも変わった。出勤前に駅で飲むコーヒー。ハイカウンターでニュースのチェックや友達とのやりとりをスマホで行う。新橋を象徴するSL広場。SLの鉄鉄とかつて存在した赤レンガ駅舎、それらをモチーフにした象徴的な空間が大のお気に入りなのだ。今日は海外から赴任したばかりのケビンと昼に打合せに出る。いつもなら、外回りでゆっくりランチを食べることができない。新しい駅のオープンとともに始まった500kcal、500円のランチセットをこの駅のハイカウンターで食べることも多い。・・・ランチどうしよう。ランチの場所に困っていると駅の冊子が目に入る。僕らには欠かせない冊子だ。ちょっと“通”ぶって、新橋をエスコートする。

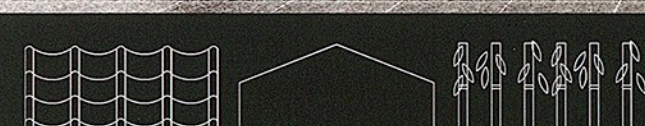
#### < ビジネスエリアの新たな象徴 “銀座線リボン” >

ビジネスエリア各駅をラインカラーでつなぐ光のリボン。未来への象徴性を持つこのリボンはラバー製フルカラーLED表示機を利用。乗場案内、駅名、時刻、電車到着案内などを含め、フレキシブルな表示を可能にし、ビジネスパーソン的一天を支えるツールとして機能する。

新橋駅 ..... 虎ノ門 | 次発 16:32 渋谷行 >> まもなく電車が到着します。  
※通常時：銀座線ラインカラー ※電車到着時：ゆらめくレモンイエロー  
< 駅の一日の演出 >  
朝・昼は昼白色、夜は電球色など照明による演出とともに、朝、夜は心地よい音楽を流す。



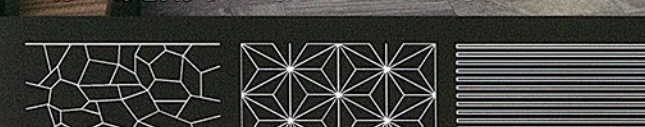
## ■溜池山王駅 積み重ね 瓦



ランチを済ませ、打合せのために溜池山王にやってくると、神聖な参道を思わせるホームに到着する。ガラス瓦で水を表現した壁はかつて民の生活水を支えていた溜池の歴史を、切妻をモチーフにした天井は日枝神社の大鳥居と神社を表現している。ケビンはこの駅が大のお気に入り。瓦はペットボトルの再生材のポリエチレン製で、改札口に密植された竹は総理官邸からの間伐材の竹を譲り受けているということを教えると、感動していた。携帯電話通話ブースで、留守電の確認と折り返しの電話をする。少し早く着いてしまったので、カフェで打合せの下準備でもしようとして冊子を取り出した。



## ■赤坂見附駅 積み重ね 石垣



打合せも終わり、赤坂見附まで歩いてやってきた。すっかり日も暮れている。冊子を手に取り、軽く一杯。ケビンは銀座線が大好きだと熱弁を振るう。ビジネスに寄り添いながらさりげなくサポートしてくれるのって、日本らしい。夜は照明が落ち着いた雰囲気となり、少し違った印象に見える。心地よい音楽がさりげなく流れている。この音楽を聞くと「今日一日、お疲れ様。」と言われている気がする。ホテルのような駅デザインは伝統的な日本の格子や組子を取り込み、名門ホテルが軒を連ねる赤坂見附にふさわしいデザインだ。石垣ともしごくマッチしている。「また明日！」と挨拶を交わし、僕は別れた。

MTR-A-0115